

# 不登校児童生徒に対する支援強化について

## 四 国 部 会 提 出

近年、不登校児童生徒数は増加の一途をたどっており、令和4年度の小中学校における不登校児童生徒数は全国で約29万9千人で過去最多、新居浜市においても年々増加傾向にあり、不登校対策の充実・強化が喫緊の課題となっている。

不登校の要因や背景が複雑・多様化している中、不登校児童生徒一人一人の状況に応じた相談・支援体制の構築が必要であるが、学校における対応においては、学級担任や生徒指導主事等による対応だけでは問題の解消が困難な状況となっており、不登校支援を専門に担う教員の配置及び不登校児童生徒への学習指導や相談支援を行う場の整備のほか、学校以外の教育支援センター等における支援体制の充実が望まれる。

以上のことから、全国的な課題となっている不登校対策に対し、自治体の財政状況によらず十分な対応ができるよう、国に対し次の事項を要望する。

### 記

1. 不登校児童生徒への対応や多様な教育の機会を確保するため、教職員の加配定数を拡充すること。
2. 不登校支援のための相談員やスクールソーシャルワーカーの配置など、自治体独自で行っている支援策に対する財政支援を拡充すること。
3. 教育支援センターやフリースクールなどの学校以外の学びの場の整備・運営に対する財政支援を拡充すること。